

## 令和7年度 学校教育自己診断の結果および分析・考察について

### 1. 診断結果について

#### (1) アンケート回収状況

学年(生徒数)	回答数		
	生徒(回収率)	保護者(回収率)	教員
1年(23)	17(73%)	76(89%)	37(95%)
2年(33)	31(94%)		
3年(29)	30(103%)		

#### (2) 診断結果(別紙資料1-①~⑥)について

資料① 生徒(むらの・全学年)

資料② 生徒(むらの 9期生\_3年生)

資料③ 生徒(むらの 10期生\_2年生)

資料④ 生徒(むらの 11期生\_1年生)

資料⑤ 保護者(むらの)

資料⑥ 教員(むらの)

● 肯定率の高い順で表記

肯定…①あてはまる

②ややあてはまる

否定…③ややあてはまらない

④あてはまらない

● 前年比±10以上の項目に矢印(↑↓)で表記

● 参考として、前年度の肯定率を記載

● 左下に<分析・考察>を表記

### 2. 診断結果の分析・考察方法について

#### (1) 分析、考察のポイント

以下の2点を中心に分析する

I. 10以上の増減があった項目について

II. 肯定的な結果が70%未満の項目について

III. その他 / ★学校経営計画に関わる項目について

#### (2) 分析、考察の方法

・分析結果を管理職、教職員に共有し、意見集約を行ったうえで学校評価委員会が取りまとめる。

#### (3) 分析・考察

<アンケートの回収率について>

① 生徒については、むらの・共生とも各学年で実施日を設定して一斉に実施した。長欠やインフルエンザなどの事情によりアンケート回答が困難な生徒を除いて、ほぼ全員回収できた。従来の<各クラス内で個人が特定できない回答形式>を、更に強化し、<コードを用いず回答前に学年所属を入力する回答形式>に改めた。事前に想定されたデメリットとして、<学年所属>の回答ミスがやはり発生したようである。

② 教員については、昨年度の回収率90%を大きな課題と捉え、100%の回収率をめざしたが、95%の結果となった。回答を業務の一環として捉える意識を職場全体で確認しながら、回答送信の有無をチェック用紙で確認する形式とし、全員の回答を確認したが、回答データの集計段階では2名が未送信であった。

③ 保護者については、R3:78%→R4:96%→R5:84%→R6:73%→R7:89%の結果となり、一昨年度からの減少課題を改善(+16%)することができた。

昨年度同様、「回答済連絡票」を提出いただき、未提出の家庭には連絡帳を通じて再度協力依頼を行った。また、「操作手順プリント」としてGoogleフォームの回答方法を図解でわかりやすく示した。

<所属、項目ごとの分析・考察について>

→資料1-①~⑥参照:令和7年度学校教育自己診断 診断結果および分析・考察について

回答数 78 /85

設問	生徒	①	②	③	④	無回答	肯定	否定	前年比(±10)		前年度肯定<参考>	備考	検証
1	学校へ行くのが楽しい。	30	30	9	9	0	76.9%	23.1%	-	1.6	75.3%		
2	本校の行事は楽しい。(学校祭、校外学習、研修旅行、スマイル&ミュージック、ミニ体育祭など)	43	24	6	5	0	85.9%	14.1%	-	-5.9	91.8%		★90%以上を維持
3	将来の進路や生き方について考える時間がある。	37	30	6	5	0	85.9%	14.1%	-	-7.0	92.9%		
4	先生は、自分のことをよく理解してくれている。	46	26	6	0	0	92.3%	7.7%	-	5.2	87.1%		
5	相談できる先生がいる。	43	25	9	1	0	87.2%	12.8%	-	-2.2	89.4%		
6	学校生活についての先生の指導は理解できる。	46	27	3	1	1	93.6%	5.1%	-	-1.7	95.3%		
7	先生はいじめなどのいろいろな問題を見逃さず教えてくれる。	46	26	5	1	0	92.3%	7.7%	-	1.7	90.6%		
8	先生は私たちのことを考えてくれている。	59	17	2	0	0	97.4%	2.6%	-	4.5	92.9%		
9	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	52	19	5	1	1	91.0%	7.7%	-	-7.8	98.8%		
10	自分の個別の教育支援計画・個別の指導計画の目標を知っている。	27	33	14	4	0	76.9%	23.1%	-	-9.0	85.9%		★85%を維持
11	地震や火災などが起こった場合、どうしたらよいかを学ぶ機会がある。	53	23	1	1	0	97.4%	2.6%	-	-1.4	98.8%		
12	本校には達成感を味わうことができる活動がある。(職場実習、オープンスクール、学校祭、スマイル&ミュージックなど)	45	25	5	3	0	89.7%	10.3%	-	-4.4	94.1%		★94%以上を維持
13	先生は、将来の進路や職業について自分に合ったアドバイスをくれる。	46	30	1	1	0	97.4%	2.6%	-	2.1	95.3%		★90%以上を維持
14	先生は授業や行事でタブレット端末を使って、わかりやすい学習をしてくれている。	55	19	2	2	0	94.9%	5.1%	-	-4.0	98.8%		★95%以上を維持

・肯定率の高い順で表記  
 肯定…①あてはまる、②ややあてはまる  
 否定…③ややあてはまらない、④あてはまらない  
 ・前年度比±10%以上の項目に矢印(↗)を表記  
 ・参考として、前年度の肯定率を記載

【分析・考察について】  
 ・以下の点を中心に分析・考察  
 I 10ポイント以上の増減(肯定率)があった項目について  
 II 肯定率が70%未満の項目について  
 III その他  
 <分析・考察>  
 I 増:該当なし 減:該当なし  
 II 該当なし  
 III 全体について  
 ・生徒の実態がやや変容している中、前年比-ポイントの項目が9つとなつてはいるが、全体的に肯定率は高く維持しており、日々の取組みの成果として現れている。次年度もこの水準を維持しつつ、肯定率が80%以下の項目を中心に引き続き、尽力していきたい。  
 ・項目1「学校へ行くのが楽しい」の解釈(質問としての読み取り方)については、以前から質問項目としての妥当性や分析・考察の難しさがあると捉えている。  
 ・項目10については『個別の教育支援計画』と『個別の指導計画』がどの目標を指しているのか理解が難しい生徒が増えたと推測もできる。また併せて、自分で立てる目標が多数あるため、その目標との混同も考えられる。引き続き、生徒の実態に応じた工夫をしていきたい。  
 ・生徒と教員の関係性に関わる項目4、5、7、8、13について、前年度より否定的な回答数が減少したことは、日常的な各教員の寄り添いや向き合いによるところであり大いに評価したい。

回答数 30

設問	生徒	①	②	③	④	無回答	肯定	否定	前年比(±10)		前年度肯定<参考>	備考	検証
1	学校へ行くのが楽しい。	11	11	4	4	0	73.3%	26.7%	-	-7.4	80.8%		
2	本校の行事は楽しい。(学校祭、校外学習、研修旅行、スマイル&ミュージック、ミニ体育祭など)	16	12	2	0	0	93.3%	6.7%	-	4.9	88.5%		★90%以上を維持
3	将来の進路や生き方について考える時間がある。	16	11	3	0	0	90.0%	10.0%	-	1.5	88.5%		
4	先生は、自分のことをよく理解してくれている。	16	11	3	0	0	90.0%	10.0%	-	-2.3	92.3%		
5	相談できる先生がいる。	18	10	2	0	0	93.3%	6.7%	-	1.0	92.3%		
6	学校生活についての先生の指導は理解できる。	21	8	1	0	0	96.7%	3.3%	-	4.4	92.3%		
7	先生はいじめなどのいろいろな問題を見逃さず考えてくれる。	20	9	1	0	0	96.7%	3.3%	-	0.5	96.2%		
8	先生は私たちのことを考えてくれている。	23	7	0	0	0	100.0%	0.0%	-	3.8	96.2%		
9	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	22	7	0	0	0	100.0%	0.0%	-	0.0	100.0%		
10	自分の個別の教育支援計画・個別の指導計画の目標を知っている。	11	13	3	3	0	80.0%	20.0%	-	-0.8	80.8%		★85%を維持
11	地震や火災などが起こった場合、どうしたらよいかを学ぶ機会がある。	22	8	0	0	0	100.0%	0.0%	-	0.0	100.0%		
12	本校には達成感を味わうことができる活動がある。(職場実習、オープンスクール、学校祭、スマイル&ミュージックなど)	22	8	0	0	0	100.0%	0.0%	-	3.8	96.2%		★94%以上を維持
13	先生は、将来の進路や職業について自分に合ったアドバイスをくれる。	23	7	0	0	0	100.0%	0.0%	-	0.0	100.0%		★90%以上を維持
14	先生は授業や行事でタブレット端末を使って、わかりやすい学習をしてくれている。	21	9	0	0	0	100.0%	0.0%	-	0.0	100.0%		★95%以上を維持

- ・肯定率の高い順で表記
- 肯定…①あてはまる、②ややあてはまる
- 否定…③ややあてはまらない、④あてはまらない
- ・前年度比±10%以上の項目に矢印(↑)を表記
- ・参考として、前年度の肯定率を記載

【分析・考察について】

- ・以下の点を中心に分析・考察
- I 10ポイント以上の増減(肯定率)があった項目について
- II 肯定率が70%未満の項目について
- III その他

〈分析・考察〉

- ① 増：該当なし 減：該当なし
- ② 該当なし
- ③ 全体として

・全体的に肯定率は高く、項目8、9、11、12、13、14.については100%の結果が得られている。生徒は自身の今後の進路実現にむけて、実習や履歴書、面接練習などに日々多くの時間を割いており、必ずしも「楽しい」とは言いきれないが、充実した第3学年の学校生活を過ごしている様子が伺える。一方で、困りごとや悩みを教員に相談しながら自分自身の課題に向き合い、また学校行事には全力を傾けて一生懸命取り組んでいる姿も伺える今回の結果となった。

回答数 31

設問	生徒	①	②	③	④	無回答	肯定	否定	前年比(±10)		前年度肯定<参考>	備考	検証
1	学校へ行くのが楽しい。	12	13	3	3	0	80.6%	19.4%	-	5.6	75.0%		
2	本校の行事は楽しい。(学校祭、校外学習、研修旅行、スマイル&ミュージック、ミニ体育祭など)	18	8	3	2	0	83.9%	16.1%	-	-9.9	93.8%		★90%以上を維持
3	将来の進路や生き方について考える時間がある。	14	12	2	3	0	83.9%	16.1%	↓	-13.0	96.9%		13の項目は維持されたまま3の項目が下がっている。1年次よりも実習等の進路関係の取り組みがハードになる中、生徒個々に悩みや壁に直面していることが反映されているのではないかと。
4	先生は、自分のことをよく理解してくれている。	19	11	1	0	0	96.8%	3.2%	-	6.1	90.6%		
5	相談できる先生がいる。	17	11	2	1	0	90.3%	9.7%	-	-0.3	90.6%		
6	学校生活についての先生の指導は理解できる。	16	13	1	1	0	93.5%	6.5%	-	-3.3	96.9%		
7	先生ははじめなどのいろいろな問題を見逃さず考えてくれる。	16	12	3	0	0	90.3%	9.7%	-	-0.3	90.6%		
8	先生は私たちのことを考えてくれている。	24	6	1	0	0	96.8%	3.2%	-	-0.1	96.9%		
9	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	20	6	4	1	0	83.9%	16.1%	↓	-13.0	96.9%		性に関する授業(助産師による「いのちの教室」)が、自己診断アンケート後の学校祭あけだったことも少なからず影響したかもしれない。
10	自分の個別の教育支援計画・個別の指導計画の目標を知っている。	10	14	6	1	0	77.4%	22.6%	↓	-13.2	90.6%		★85%を維持 ・担任面談の回数が増えれば改善できるかもしれない。担任面談で教育支援計画の目標について話す機会はあるが個別の指導計画についてはあまりない。 ・『個別の教育支援計画』と『個別の指導計画』がどの目標を指しているのかわかりづらくないか。あわせて自分で立てる目標が多いためその目標との混同が考えられる。 ・担任面談時に説明をしているが、アンケートを実施するまでに時間が経っており、目標を長期的に覚えられていないのではないかと。 ・『個別の指導計画』については各教科の目標が多いため、目標の把握は難しい。この質問の問い方を一考する必要があるのではないかと。
11	地震や火災などが起こった場合、どうしたらよいかを学ぶ機会がある。	20	10	0	1	0	96.8%	3.2%	-	-0.1	96.9%		
12	本校には達成感を味わうことができる活動がある。(職場実習、オープンスクール、学校祭、スマイル&ミュージックなど)	17	10	2	2	0	87.1%	12.9%	-	-0.4	87.5%		★94%以上を維持
13	先生は、将来の進路や職業について自分に合ったアドバイスをくれる。	15	14	1	1	0	93.5%	6.5%	-	2.9	90.6%		★90%以上を維持
14	先生は授業や行事でタブレット端末を使って、わかりやすい学習をしてくれている。	23	6	1	1	0	93.5%	6.5%	-	-3.3	96.9%		★95%以上を維持

・肯定率の高い順で表記  
肯定…①あてはまる、②ややあてはまる  
否定…③ややあてはまらない、④あてはまらない  
・前年度比±10%以上の項目に矢印(↑)を表記  
・参考として、前年度の肯定率を記載

【分析・考察について】  
・以下の点を中心に分析・考察  
Ⅰ 10ポイント以上の増減(肯定率)があった項目について  
Ⅱ 肯定率が70%未満の項目について  
Ⅲ その他  
〈分析・考察〉  
① 昨年度と比較できないため該当なし  
② 該当なし  
③ 全体として  
・2年生になって実習も行事も経験して様々な事がわかってきて、否定的な意見も出てきたように思う。将来の進路や職業について自分にあったアドバイスをくれると考えている一方で、進路や生き方について考える時間があると答えた回答が減った。1年次よりも実習等がハードになったと感じ、悩みや壁に直面することも多くなったのではないかと。  
・9の項目については性に関する授業が学校祭あけの後半にあるため、まだできていないからと考える。  
・担任面談で教育支援計画の目標について話す機会はあるが個別の指導計画についてはあまりないかもしれない。

回答数 17

設問	生徒	①	②	③	④	無回答	肯定	否定	前年比（±10）		前年度肯定<参考>	備考	検証
1	学校へ行くのが楽しい。	7	6	2	2	0	76.5%	23.5%	#VALUE!	#VALUE!	—		
2	本校の行事は楽しい。（学校祭、校外学習、研修旅行、スマイル&ミュージック、ミニ体育祭など）	9	4	1	3	0	76.5%	23.5%	#VALUE!	#VALUE!	—		★90%以上を維持
3	将来の進路や生き方について考える時間がある。	7	7	1	2	0	82.4%	17.6%	#VALUE!	#VALUE!	—		
4	先生は、自分のことをよく理解してくれている。	11	4	2	0	0	88.2%	11.8%	#VALUE!	#VALUE!	—		
5	相談できる先生がいる。	8	4	5	0	0	70.6%	29.4%	#VALUE!	#VALUE!	—		
6	学校生活についての先生の指導は理解できる。	9	6	1	0	1	88.2%	5.9%	#VALUE!	#VALUE!	—		
7	先生はいじめなどのいろいろな問題を見逃さず考えてくれる。	10	5	1	1	0	88.2%	11.8%	#VALUE!	#VALUE!	—		
8	先生は私たちのことを考えてくれている。	12	4	1	0	0	94.1%	5.9%	#VALUE!	#VALUE!	—		
9	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある。	10	6	1	0	0	94.1%	5.9%	#VALUE!	#VALUE!	—		
10	自分の個別の教育支援計画・個別の指導計画の目標を知っている。	6	6	5	0	0	70.6%	29.4%	#VALUE!	#VALUE!	—		★85%を維持
11	地震や火災などがおこった場合、どうしたらよいかを学ぶ機会がある。	11	5	1	0	0	94.1%	5.9%	#VALUE!	#VALUE!	—		
12	本校には達成感を味わうことができる活動がある。（職場実習、オープンスクール、学校祭、スマイル&ミュージックなど）	6	7	3	1	0	76.5%	23.5%	#VALUE!	#VALUE!	—		★94%以上を維持
13	先生は、将来の進路や職業について自分に合ったアドバイスをくれる。	8	9	0	0	0	100.0%	0.0%	#VALUE!	#VALUE!	—		★90%以上を維持
14	先生は授業や行事でタブレット端末を使って、わかりやすい学習をしてくれている。	11	4	1	1	0	88.2%	11.8%	#VALUE!	#VALUE!	—		★95%以上を維持

・肯定率の高い順で表記  
 肯定…①あてはまる、②ややあてはまる  
 否定…③ややあてはまらない、④あてはまらない  
 ・前年度比±10%以上の項目に矢印(↗)を表記  
 ・参考として、前年度の肯定率を記載

【分析・考察について】  
 ・以下の点を中心に分析・考察  
 I 10ポイント以上の増減（肯定率）があった項目について  
 II 肯定率が70%未満の項目について  
 III その他  
 〈分析・考察〉  
 ① 増：前年比なし 減：前年比なし  
 ② 該当なし  
 ③ 全体として  
 ・回答におけるパーセンテージについては例年より生徒数が少ない点を考慮する必要があると考える。  
 ・肯定率の基準としている70%未満の項目はなく、全体的に肯定率は高い。  
 ・実施時期にインフルエンザによる学級閉鎖などが重なり、例年より回答率が低くなってしまった。

回答数 76 / 85

設問	保護者	①	②	③	④	無回答	肯定	否定	前年比（±10）		前年度肯定 <参考>	備考	検証
1	子どもは学校へ行くのを楽しみにしている。	37	27	7	5		84.2%	15.8%	-	-2.1	86.3%		
2	子どもは授業がわかりやすく楽しいと言っている。	31	33	11	1		84.2%	15.8%	-	-4.8	89.0%		
3	学校は将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている。	59	13	4	0		94.7%	5.3%	-	-3.9	98.6%		★95%以上を維持
4	学校は、子どもの障がいについて、よく理解している。	47	25	4	0		94.7%	5.3%	-	4.3	90.4%		
5	学校の生徒指導の方針に共感できる。	44	25	6	1		90.8%	9.2%	-	-2.4	93.2%		
6	学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	55	21	0	0		100.0%	0.0%	-	4.1	95.9%		
7	学校は日常の教育活動において、子どもの人権を十分に尊重している。	52	21	2	1		96.1%	3.9%	-	4.3	91.8%		
8	学校は子どもに生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を養おうとしている。	55	20	1	0		98.7%	1.3%	-	0.1	98.6%		
9	学校の授業参観や学校行事に参加したことがある。	68	6	1	1		97.4%	2.6%	-	1.5	95.9%		
10	学校は、教育情報について提供の努力をしている。	56	19	1	0		98.7%	1.3%	-	1.4	97.3%		

- ・肯定率の高い順で表記  
肯定…①あてはまる、②ややあてはまる  
否定…③ややあてはまらない、④あてはまらない
- ・前年度比±10%以上の項目に矢印（↑）を表記
- ・参考として、前年度の肯定率を記載

- 【分析・考察について】
- ・以下の点を中心に分析・考察
  - I 10ポイント以上の増減（肯定率）があった項目について
  - II 肯定率が70%未満の項目について
  - III その他
- 〈分析・考察〉
- I 該当なし
  - II 該当なし
  - III 全体について
  - ・全体的に肯定率は高い数値を維持している。本校の教育活動へのご理解をいただき、学校生活における生徒たちの成長を実感いただけているのではないかと捉えている。
  - ・二年連続下がっていた回答率が、89%（+16%）に上がったことは大いに評価しており、就労に向けた学習や進路指導等における保護者との日常的な連携、協力体制がよりよいものとなってきている結果と捉えている。

回答数 37 /39

設問	教員	①	②	③	④	無回答	肯定	否定	前年比 (±10)		前年度肯定<参考>	備考
1	本校では、学校祭・校外学習・研修旅行などの学校行事は、生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫を行っている。	22	15	0	0	0	100.0%	0.0%	-	2.7	97.3%	
2	私は、生徒の特性や実態をふまえ教員間で授業の内容や方法等について情報交換や検討する機会を持っている。	21	13	3	0	0	91.9%	8.1%	↑	13.5	78.4%	定例会議のスリム化を図り出して2年めに入り、各部署でのフレキシブルな運用や、日常的な教員間での情報共有等がうまく回り出しているのではないかと。
3	私は、主体的・対話的で深い学びの実現をめざして授業を行っている。	19	16	1	0	1	94.6%	2.7%	-	0.0	94.6%	★95%
4	本校では、生徒一人ひとりと興味・関心・適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	23	13	1	0	0	97.3%	2.7%	-	0.0	97.3%	
5	私は、カウンセリングマインドをもって生徒の相談に快く応じている。	18	18	1	0	0	97.3%	2.7%	-	2.7	94.6%	
6	本校では、いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができている。	26	11	0	0	0	100.0%	0.0%	-	2.7	97.3%	
7	本校では、生徒の人権を尊重して日常的教育活動を行っている。	12	22	2	1	0	91.9%	8.1%	-	8.1	83.8%	★90%
8	教科の個別の指導計画の目標・手立て・評価の作成において、支援教育部を中心とする現行の体制は役立っている。	19	17	1	0	0	97.3%	2.7%	-	0.0	97.3%	
9	本校では、外部への情報提供の手段として学校のホームページが活用されている。	15	17	4	1	0	86.5%	13.5%	-	0.0	86.5%	
10	本校は、教育活動に必要な情報について生徒・保護者や地域への周知に努めている。	19	16	1	1	0	94.6%	5.4%	-	2.7	91.9%	
11	本校では、初任者を含む教職経験1~2年めの者及び本校1年めの教職員に対する育成・支援が行われている。	12	15	10	0	0	73.0%	27.0%	-	-8.1	81.1%	★80%以上を維持
12	本校では、教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画にいかしている。	15	20	2	0	0	94.6%	5.4%	-	2.7	91.9%	

- ・肯定率の高い順で表記  
肯定…①あてはまる、②ややあてはまる  
否定…③ややあてはまらない、④あてはまらない
- ・前年度比±10%以上の項目に矢印(↑)を表記
- ・参考として、前年度の肯定率を記載

【分析・考察について】

- ・以下の点を中心に分析・考察
- I 10ポイント以上の増減(肯定率)があった項目について
- II 肯定率が70%未満の項目について
- III その他

〈分析・考察〉

- I 増：項目2 減：該当なし
- II 該当なし
- III 全体について
- ・全体的に肯定率は高い。
- ・昨年度大幅に減となった項目2が、+13.5と大きく改善した。定例会議のスリム化を図りながらも、各部署でのフレキシブルな運用や、日常的な教員間での情報共有等がうまく取れている結果である。今後も、さらに工夫を重ねていきたい。
- ・前年比-8.1となった項目11については、次年度に向けた大きな課題として捉え、改善の工夫を図りたい。今年度、年度当初の業務過多を解消するために、校内研修や職員向けのガイダンスを意図的に減らしたことも結果に影響したのではないかと考えている。次年度は業務バランスを考慮しながらの工夫、改善が必要である。
- ・昨年度の回収率90%を大きな課題とし、100%の回収率をめざしたが、95%の結果に終わった。回答を業務の一環として捉える意識を職場全体で確認しながら、回答送信の有無をチェック用紙で確認する形式とし、全員の回答を確認したが、回答データの集計段階では2名が未送信であった。次年度に向けて手法の改善を図りたい。